

令和6年度 学校経営計画書

石川県立大聖寺高等学校

学校長 弥久保 悦朗

1 教育目標

自主自律の精神を堅持し、自他の生命と個性を尊び、気品と活力のある創造性豊かな人間の育成を期す。

- ① 高い知性を持ち、創造性豊かな人間を育成する。
- ② 自己実現のために心身共にたくましい人間を育成する。
- ③ 広い視野に立って郷土を愛し、行動力のある人間を育成する。

2 学校の現状

- ① 創立114年の歴史を持つ南加賀地区の進学校として、「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、学びの改革に取り組んでいる。
- ② 近年の教育改革、大学入試改革による教育環境の変化に対応するため、職員の協働性を高める取り組みを学校全体で行っている。
- ③ 生徒が主体的に学業や学校行事、部活動等に取り組むための意識改革を行っている。
- ④ STEAM教育を通して、地域との連携を強化し、主体的に地域と関わり貢献できる人材の育成を図っている。

3 中・長期的目標

(1) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 目的意識をしっかりと持たせ、主体的・積極的に学ぶ態度を育成する。
- ② 将来の目標を確立させ、早期から進路を選択できる能力を育成する。
- ③ 学校行事や部活動、生徒会活動、各種体験学習等を通して、豊かな人間性と逞しい心身を育成する。

(2) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 職員一人一人が学校経営に参画する意識を持ち、より良質の教育活動が提供できるよう、研修等を通じて授業力・支援力の向上に努める。
- ② 生徒一人一人の可能性を最大限伸ばせるように、全職員で支援にあたる。
- ③ 学校公開やホームページ、メディア等を通じて本校の教育活動を積極的に外部へ発信するとともに、保護者、地域及び小中学校との一層の連携を図り、「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を推進する。
- ④ 教職員がその年代や経験に応じて身に着けるべき資質・能力を「教員育成指標」をもとに意識し、高めていこうとしている。
- ⑤ 教職員のワークライフバランスに配慮し、多忙化改善に向けた学校マネジメントを推進する。

4 今年度の重点目標

- ① 一人一人の進路実現のために、3年間を見通した進路支援体制を充実させ、生徒に早期から高い志を持たせる。
- ② 学習に対する生徒の意欲を高め、学習内容の確実な定着を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための研究と実践を進める。
- ③ 生徒一人一台端末や学習支援ツールの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」に加えて、生徒主体の授業を試みる。
- ④ 様々な生徒が主体性を発揮できるように、部活動や生徒会活動の活性化を図るとともに、地域との連携に努める。
- ⑤ 業務の精選・効率化・平準化に努め、働き方改革を進める。